

「今月の1枚」



マンネンスギ (*Lycopodium obscurum*)

スギの葉に似ていますがヒカゲノカズラ科に属するシダ植物です。四国では高い山の頂上付近の日当たりのよい場所で見られます。穂のように見えるものは孢子嚢穂（ほうしのうすい）といい、孢子嚢（胞子の入った袋）をつけた葉（孢子葉）の集まりです。ヒカゲノカズラの仲間は石炭紀（3億7千万年～2億9千万年前）に栄え、リンボク（鱗木）という植物は高さ10メートルに達し大森林を形成していたそうです。石炭はリンボクの遺体が炭化したものです。今では山の片隅でひっそりと生きています。

（文・写真：酒井敦 2005年11月8日愛媛県三本杭山で撮影）

（参考：光田重幸著 シダの図鑑 保育社）

（No.133 2005.12.9 掲載）